

馬鈴しょ等の畑作を主体としていた管内の農業は、昭和30年代の冷害などを転機として、冷涼な地域の気候風土に合った酪農を主体とする形態へと移行し、発展してきました。

現在では、広大な1戸当たりの耕地面積を活かした、大規模な草地型酪農が展開される道内有数の酪農地帯となっています。

生乳生産量は、平成28年度は約32万トンで、全道に占める割合は8.5%となっています。

農業の国際化など畜産・酪農を巡る情勢は不透明な中で、管内の酪農経営も一層のコスト低減や良質乳の安定生産が求められています。このため、計画的な草地整備改良や家畜ふん尿の有効活用を推進して自給飼料の生産性向上に努めるとともに、飼養環境の整備や放牧技術の確立により、クリーンで良質な生乳生産を進めています。

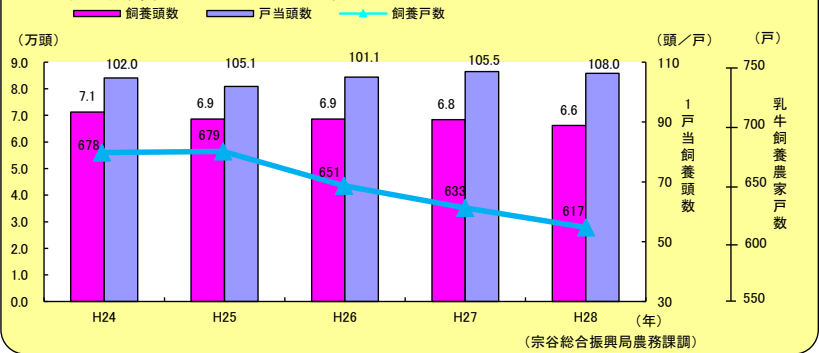
また、農業者の高齢化や担い手の減少、1戸当たりの飼養頭数の増加により農作業が過重となってきたため、農作業支援組織の育成と、それを核とした協業化システムや、集約型放牧酪農も積極的に推進し、ゆとりある安定的な酪農経営の実現を目指しています。

近年は、農作業支援組織として牧草の肥培管理から収穫貯蔵、調製や各農家への飼料の配送を行うTMRセンターの設立が活発となっており、管内では現在、12か所のセンターが活動しています。

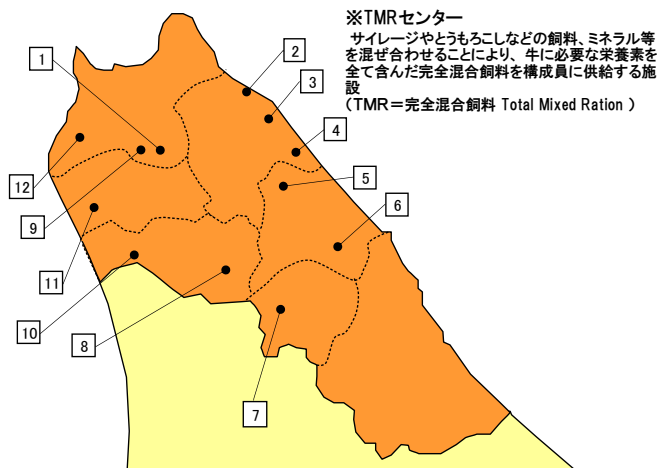
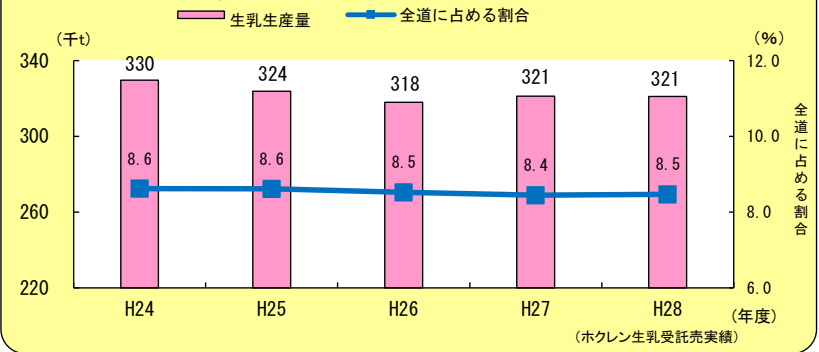
## ■管内の農業と全道対比

区分	単位	管内	全道	全道比	資料
耕地面積	ha	62,400	1,145,000	5.4%	農林水産統計 農林水産省 (平成29年7月15日現在)
乳牛飼養頭数	頭	66,162	785,700	8.4%	
飼養戸数	戸	617	6,490	9.5%	宗谷分: 肉畜等に関する調査 道農政部 (平成28年2月1日現在)
一戸当たり	頭	107.2	121.1	—	
肉牛飼養頭数	頭	5,587	512,500	1.1%	北海道分: 畜産統計調査 農林水産省 (平成28年2月1日現在)
飼養戸数	戸	63	2,600	2.4%	
一戸当たり	頭	88.7	197.1	—	
生乳生産量	トン	321,044	3,790,531	8.5%	ホクレン生乳受託販売実績 (平成28年度)

## ■乳牛飼養頭数及び戸数の推移



## ■生乳生産量の推移



番号	名称	所在市町村	TMR用面積 (ha)	構成員数
1	(南)ドリームアグリ	稚内市	646	9戸
2	(株)クロノス	猿払村	360	3戸
3	猿払TMRセンター(株)	猿払村	730	10戸
4	(南)浅茅野システムレボ	猿払村	990	9戸
5	(南)みどりの開明	浜頓別町	685	6戸
6	(南)浜頓別エバーグリーン	浜頓別町	1,698	16戸
7	(株)ディリーソウル中頓別	中頓別町	547	10戸
8	(南)CFT	幌延町	670	9戸
9	(合)沼川TMRセンター	稚内市	889	8戸
10	(同)幌延フィードサービス	幌延町	357	6戸
11	(同)ディリーフィードサロベツ	豊富町	734	8戸
12	(株)Yu-LINE NEXT	稚内市	388	6戸

■TMRセンター位置図及び概要

宗谷総合振興局農務課調